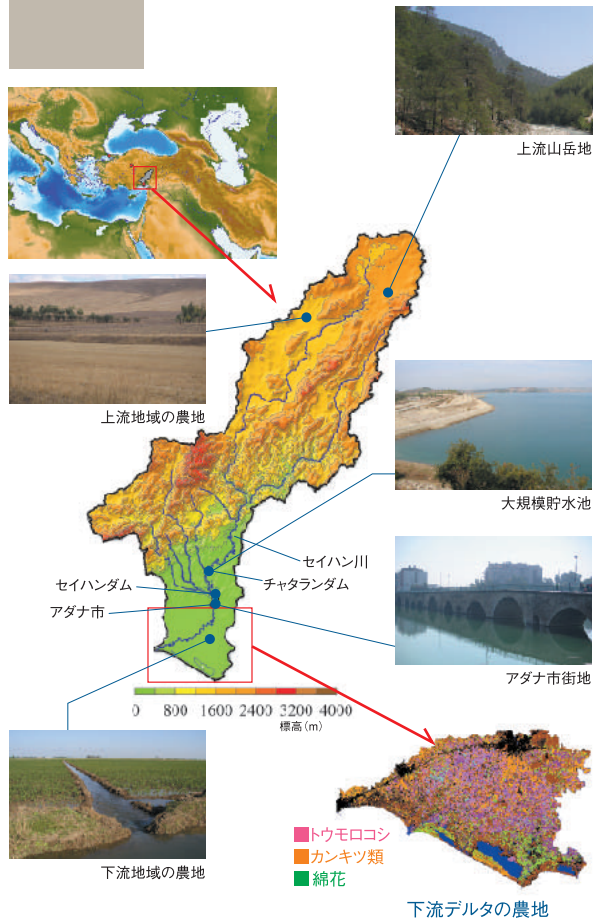


調査対象
地域

トルコ・セイハン川流域



研究対象としたセイハン川流域は、トルコの地中海地域にあり、地中海性気候に支配されています。降水は冬季が中心で、標高が高くなるほど多くなりますが、大陸性気候の影響を受ける上流部では極めて少ないのが特徴です。

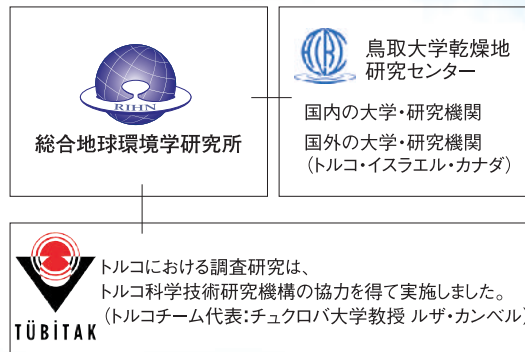
年降水量：下流700mm—中流900mm—上流300mm
 年流出量：渇水年191mm (37億m³)—平水年284mm (55億m³)—豊水年377mm (73億m³)
 有効貯水量：セイハングダム8.8億m³ チャタラダム16億m³
 下流デルタの農地面積：133,000ha、トウモロコシ：45%、カンキツ類：14%、綿花：5% (2003年)

気象や水文の特性に対応して、上流山間部には天水小麦地帯が広がり、下流の海岸デルタでは、上流の山岳地帯に降る冬の雨や雪を、2つの大きなダムに貯水して夏に利用する灌漑農業地帯が広がっています。灌漑農地では、トウモロコシや綿花・果樹・野菜などが栽培されています。

ICCAPは、総合地球環境学研究所の
第1期プロジェクトとして実施されました。

プロジェクトには、地球研の連携研究機関である鳥取大学乾燥地研究センターをはじめ、国内の大学・研究所、調査地のトルコ、そしてイスラエルやカナダの大学・行政機関などから、多くの研究者が参加しました。また、気候学、水文学、作物学、林学、農業土木学、畜産学、経済学、人類学など様々な分野の研究者や実務者が、連携して分野横断的な調査研究を進めました。

(研究期間：2002～2007年 リーダー：地球研教授 渡邊紹裕)



地球研の研究プロジェクト

「農業が環境を破壊するとき—ユーラシア農耕史と環境—」
(研究期間：2006～2011年 リーダー：地球研教授 佐藤洋一郎
<http://www.chikyu.ac.jp/sato-project/>)
は、本プロジェクトの研究の経緯・成果も踏まえて実施されています。

地球研プロジェクト ICCAP

E-mail: iccap@chikyu.ac.jp

<http://www.chikyu.ac.jp/iccap/>

人間文化研究機構 総合地球環境学研究所

〒603-8047 京都市北区上賀茂本山457-4

Tel: 075-707-2100 Fax: 075-707-2106

E-mail: info@chikyu.ac.jp

<http://www.chikyu.ac.jp/>

総合地球環境学研究所 研究プロジェクト

IGES ICCAP

Research Project

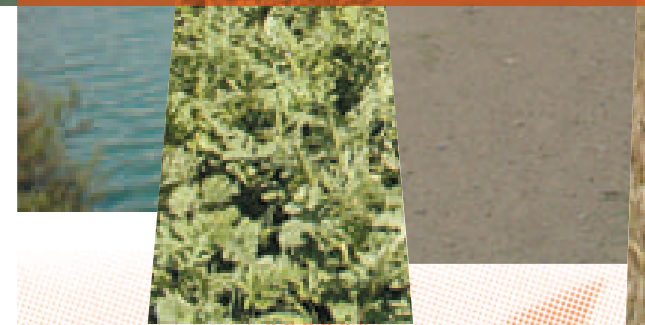
on

Impact of Climate Changes

on Agricultural Projection System in Arid Areas



乾燥地域の農業生産システムに及ぼす
地球温暖化の影響



総合地球環境学研究所